

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330332074	こども文学 Juvenile Literature	山田禮子	○	専門	2	選択	3後期
科目の概要							
こどもの生活学科の教育目標は、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格を生かして、子どもたちの学力及び社会性の基礎・基本を育てることによって、子育ての面から支援することのできる人材を育成することにある。そこで、子供が手にする絵本及び昔話を中心に、実際に声に出して読むことで、内容や良さを認識する。また、子供に適した本を、自らも選ぶ。そして、子供に読書の面白さを伝え、本に親しませるための方法を模索する。読み聞かせの活動を通して、子供への接し方や本選びの方法・読書指導の工夫を考察する。公立学校の教員を38年間務め、国語教育の経験がある。小中学校での授業経験や、国語科指導員として多くの授業を指導した経験を生かした授業を行う。							
学修内容				到達目標			
① 絵本や昔話の良さを生かし、読み聞かせをする。 ② 子供の発達段階に適した本や話を選ぶ。 ③ 読み聞かせの活動を通して、子供理解を深める。				① 絵本や昔話の魅力が伝わる読み聞かせができる。 ② 対象となる子供を想定した本選びができる。 ③ 読み聞かせの活動を客観的に評価できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	本選び、読み聞かせの工夫が、積極的に個性的に進められる。					
	働きかけ力						
	実行力	目標達成に向けて課題を最後までやり抜くことができる。					
考え抜く力	課題発見力	講義や手にした絵本や昔話、グループ活動等で得た情報を整理し、より良い読み聞かせについて、課題を見出すことができる。					
	計画力						
	創造力	課題や問題提起に対して、さまざまな方向から柔軟に考え、自分なりに工夫し読み聞かせ活動におけるアイデアを見出すことができる。					
チームで働く力	発信力	調べたり、考えたり、話し合ったりしたことを的確な表現で発表することができたり、個性的に読み聞かせたりできる。					
	傾聴力	講義や他者の意見をよく聴き、自分の見解を持つことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	無断欠席せず授業に集中し、期限を守って課題提出できる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
その都度、授業プリントを用意する。							
他科目との関連、資格との関連							
「こども文学」は専門科目、幼・保領域の保育の内容・方法に関する科目の一部である。「保育内容（表現B）」「保育内容（環境）」で獲得した知識・技能を活用する。また、「こども文学」は、その後に履修する「こども表現（図画工作）」の基盤となる科目である							
学修上の助言				受講生とのルール			
学内図書館や公共図書館に向いて、絵本に多く触れるようにするとよい。 授業内容を「授業ポイント」にまとめる。				遅刻3回で欠席1回とする。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		80	①		
					②	✓	
③					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			10	①	✓		
				②			
	③						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A (優) 聞き手によく伝わる読み聞かせができ、本選びにおいて子供の発達段階を考慮してであると認められる。また、読み聞かせにおいて客観的な評価ができる。併せて、授業態度において社会人基礎力のレベルが6割以上認められる。</p> <p>S (秀) Aの基準を十分満たしている上に、「本の紹介カード」「評価カード」においても、個性的な工夫がされている。</p>	<p>B (良) よどみなく読み聞かせをし、「本の紹介カード」「評価カード」3枚以上提出し、規定の文章量を満たしている。併せて、授業態度において社会人基礎力のレベルが4割以上認められる。</p> <p>C (可) B基準を満たしていない。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・授業の目標、進め方を知る。 ・読み聞かせの基本を理解し、練習する。	講義 読み聞かせ練習	読み聞かせの基本が説明できる。絵本の扱い方に慣れる。	(予習) 学泉ノートを読んで、学修に向かう心構えを確認する。 (復習) 授業を振り返り、授業のポイントを整理する。 年少児を対象にした絵本を選び紹介カードを書く。(googleclassroomドキュメント提出)	100	規律性
2	・絵本選定の基礎を理解し、紹介カードを書き直す。	講義 提出された紹介カードの解説 グループ討議	選定意図・あらすじ・読み聞かせポイントを明快に書くことができる。	(予習) 絵本の準備と選定意図が説明できるようにする。 (復習) 紹介カードを完成させる。(googleclassroomドキュメント提出) 授業を振り返り、「授業ポイント①」を整理する。(googleclassroomドキュメント提出) ※以下、「授業ポイント」はこの方法で提出する。	100	規律性
3	・他の学生の絵本の紹介を聞き、気になった絵本を記録する。 ・読み聞かせの導入方法を理解する。	提出された紹介の解説 講義 グループワーク	子供に適した読書内容や読書段階が、自分の選んだ本を基に説明できる。読み聞かせ導入のアイデアが鮮明になる。	(予習) 絵本の紹介練習をする。 (復習) 紹介カードを再考し提出する。(googleclassroomドキュメント提出) 導入に必要なグッズ制作のための材料を準備する。	180	主体性
4	・読み聞かせ導入の計画を立て、グッズを作成する。 ・読み聞かせの練習をする。	講義 グループワーク 読み聞かせの練習	子どもの関心を引き寄せ、本の世界に引き込む導入を考え、具体物を作成することができる。読み聞かせがスムーズにできる。	(予習) 具体物作成のための材料を準備する。 (復習) 導入計画を完成させる。(googleclassroomドキュメント提出) 授業を振り返り、「授業ポイント②」を整理する。	180	実行力
5	・導入を含め、読み聞かせの練習をする。	提出された導入計画の解説 ディスカッション 読み聞かせ練習	子どもを意識した導入・読み聞かせができる。また、客観的な評価ができる。	(予習) 導入・読み聞かせの練習をする。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント③」を整理する。	180	課題発見力
6	・導入を含めた読み聞かせ発表をする。 ・聞き手は、読み聞かせの出来栄を客観的に評価する。	読み聞かせ発表 討議	・子どもを本の世界に引き寄せる導入の工夫ができる。 ・基本に則った読み聞かせができる。	(予習) 導入を含めた読み聞かせの練習をする。 (復習) 「評価カード」を完成する。(「授業ポイント④」とする。)	180	主体性
7	・導入を含めた読み聞かせ発表をする。 ・聞き手は、読み聞かせの出来栄を客観的に評価する。 ・「評価カード」の記述方法を理解する。	提出された評価カードの解説 読み聞かせ発表 討議	・子どもを本の世界に引き寄せる導入の工夫ができる。 ・基本に則った読み聞かせができる。	(予習) 導入を含めた読み聞かせの練習をする。 (復習) 「評価カード」を完成する。(「授業ポイント⑤」とする。)	180	傾聴力
8	・年長児に適した本の選定をし、読み聞かせ途中の受け答えの留意点を理解する。	講義 提出された評価カードの解説	年長児に適した本の選定と受け答えの基本を理解できる。	(予習) 年長児に適した絵本を準備する。 (復習) 絵本の紹介カードをまとめる。(googleclassroomドキュメントに提出)	180	創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・提出された紹介カードの解説 ・途中の受け答えの留意点を踏まえた読み聞かせの練習をする。	提出された紹介カードの解説 ディスカッション	読み手を意識した読み方ができる。また、客観的な評価ができる。	(予習) 読み聞かせの練習をする。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント⑥」を整理する。	180	課題発見力
10	・受け答えを含めた読み聞かせ発表をする。 ・聞き手は、読み聞かせの出来栄を客観的に評価する。	読み聞かせ発表 グループワーク	・子どもを本の世界に引き寄せる応答ができる。 ・基本に則った読み聞かせができる。	(予習) 読み聞かせの練習をし、留意点をまとめる。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント⑦」を整理する。	180	発信力
11	・受け答えを含めた読み聞かせ発表をする。 ・聞き手は、読み聞かせの出来栄を客観的に評価する。	読み聞かせ発表 ディスカッション	・子どもを本の世界に引き寄せる応答ができる。 ・基本に則った読み聞かせができる。	(予習) 読み聞かせの練習をし、留意点をまとめる。 (復習) 「評価カード」をまとめる。	180	課題発見力
12	・「紙芝居」の基本的な操作の方法を理解する。 ・グループごとに「紙芝居」を選定し、役割分担する。	講義 グループワーク	読み手を意識した読み方が意識できる。また、子供を想定した本の楽しみ方の工夫が話し合える。	(予習) 「紙芝居」の操作方法を調べる。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント⑧」を整理する。	180	創造力
13	・グループごとに「紙芝居」読み聞かせの練習をする	グループワーク	読み手を意識した読み方ができる。また、客観的な評価ができる。	(予習) 読み聞かせの練習をし、留意点をまとめる。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント⑨」を整理する。	180	傾聴力
14	・グループごとに発表をし、聞き手は評価をする。	グループワーク ディスカッション	紙芝居の読み聞かせの基本操作ができる。役割を果たし、読み聞かせができる。	(予習) 読み聞かせの留意点をまとめ、紙芝居を読む練習をする。 (復習) 授業を振り返り「授業ポイント⑩」を整理する。	180	発信力
15	・「こども文学の魅力とは何か」について、小論文にまとめる。	講義 小論文記述	3観点に沿って、整った文書が書ける。	(予習) これまでの「授業ポイント」を読んで、要点を振り返る。 (復習) 授業を振り返りポイントを整理する。	180	課題発見力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力